

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：警察費 項：警察活動費 目：刑事警察費

事業名 初動捜査高度化事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

警察本部 刑事部 刑事総務課 電話番号：058-271-2424 (内 4011)

鑑識課 電話番号：058-271-2424 (内 4611)

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

1 事業費

7,228千円（前年度予算額：18,748千円）

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	18,748	0	0	0	0	0	0	0	18,748
要求額	7,228	0	0	0	0	0	0	0	7,228
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

各種事件の対応や客観的証拠を確立するため防犯カメラ等の活用をしているところであるが、各種捜査資機材の老朽化が進み、リアルタイムな情報収集や正確な各種映像の収集が困難な状況となってきている。

犯罪発生時に客観証拠収集活動の一環として、現場写真の撮影や指紋・足跡などの検索・採取などを行っているが、書き切り型撮影媒体対応カメラは平成21年度の整備から10年超が経過したことから、修繕にも対応できないなど計画的な更新整備が必要となっている。

(2) 事業内容

- よう撃捜査支援装置の更新整備

導入後7年が経過するよう撃捜査支援装置7台について順次更新する。

- 書き切り型撮影媒体対応用デジタル一眼レフカメラの更新整備

整備後10年が経過したデジタル一眼レフカメラを4年計画で順次更新整備する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県民の安全を脅かす犯罪事件の捜査等に要する負担であり、県の治安対策に資するものであることから、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	7,228	よう撃捜査支援装置の更新、鑑識・事件捜査用デジタル一眼レフカメラの更新整備等
合計	7,228	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

II-2-(2)-③ 犯罪・交通事故防止の推進

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
被疑者の検挙や被害回復を実現するため初動捜査の充実を図る。
客観証拠の迅速・的確な収集を可能とする体制を構築する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

初動捜査の高度化により、県民の不安に感じる犯罪を無くすためのものであるから、目標設定は困難である。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - 鑑識現場臨場件数 8,563件（令和2年7月末現在）
 - 各種事件現場に早期臨場し、防犯カメラ映像の収集、解析等を実施し、客観的証拠の積極的な収集に努めた。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
新たな装置の整備、拡充により、これまで長時間かかっていた作業が効率化され、必要な証拠を早期に収集することが可能となり、事件検挙に向けた客観証拠の収集の強化を図ることができた。迅速かつ的確な鑑識活動を推進したことにより、事件現場から採取した資料を確実に証拠化し、事件解決に向けての今後の捜査及び公判維持に効果を発揮することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	初動捜査の高度化は、日々進化する犯罪捜査に対処するために必要不可欠であり、緻密かつ適正な捜査の徹底と捜査効率の推進が図られることから必要性は高い。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	犯罪を証明するための客観的証拠により、各種事件の解決に貢献している。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	資機材の有効活用に配慮するとともに、経費の節減に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 社会情勢の変化に合わせて、適切な捜査資機材の整備や計画的な更新を行う必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 整備した資機材を効果的に活用するため、維持管理に必要な予算を確保するとともに、必要性や効果を踏まえ、今後も拡充や整備を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】
--	-------

